2010年（平成22年）5月 第148号　仙台市議会だより sendai city assembly

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。
19名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

新しい翼

加藤 和彦 議員

問　横並びや縦割り等を排除し、多面的な能力と機動性を身に付けた職員への進化を約束した市長に、市役所の変革を問う。

答　市政を取り巻く環境の変化に対し、迅速かつ柔軟に対応できるように変革することが、市民とともに進める行政経営を可能にするものと確信している。

その他の主な質問項目
○大区役所制の改革への提言
○宮城地区の特色と現状
○宮城総合支所の改革

跡部 薫 議員

問　奥山市長の行財政改革断行への決意を伺い、国に対し税財源移譲と地方財政制度確立の重要性の発信を求める。

答　戦略的な経営の視点に立ち新たな改革を断固実行し、地方税財源等の拡充強化の必要性を国等に発信する。

その他の主な質問項目
○介護報酬改定と特別養護老人ホームの待機者削減策
○子供読書活動推進と学校図書の充実、データベース化
○児童クラブ登録者増加対策
○地域コミュニティ防災力強化

橋本 啓一 議員

○子育て家庭が安心して子どもを産み育てることができる仙台市の取り組み（ひとり親家庭への就労支援、育児サークルへの支援ネットワークの構築、市民力を活かした待機児童解消）
○各局が連携した実効性ある介護予防、認知症対策の啓発と地域ネットワーク構築
○時代の変化に即応したきめ細やかな区役所の機能強化
○新政権の財政運営等による地方への影響と事業仕分けを活用した事業全般の検証

岡部 恒司 議員

問　るーぷる仙台の運行コースの工夫について、どのような検討をしているのか伺う。

答　試行時の大崎八幡宮の降車人数実績を踏まえ、四月から大崎八幡宮経由のコースを通常コースとして運行する。

その他の主な質問項目
○東京事務所をシティセールスの前線基地に
○自殺対策について
○地域の「お祭り」支援
○低炭素社会実現への取組み
○市たばこ税・分煙体制の確立

ルート拡大に伴い導入される「るーぷる仙台」の新型車両

高橋 次男 議員

問　仙台国際音楽コンクールの更なる充実のため音楽ホールの建設は避けて通れない。課題は多いが道筋を示すべき。

答　今後必要なホールのあり方や整備手法などについて、関係機関・団体と共に協議・検討を行ってまいりたい。

問　名取川河川敷の立木等は伸び放題である。仙台の南の玄関口にふさわしい管理を国土交通省に要望すべき。

答　本市が占有する用地の環境整備を協議し、河川敷の適正な管理を要望していく。

西澤 啓文 議員

問　中心部でのレンタル方式のコミュニティサイクルは、放置自転車、交通渋滞、CO2対策等に大変有効であり、本格導入に取り組むべき。

答　市民の方々に多く利用していただき、いつでも・誰でも・安全に・快適に・楽しく」自転車を利用できるまちづくりに取り組みたい。

その他の主な質問項目
○まず、市中心部のバリアフリー基本構想から策定を
○高齢者等専用駐車区間制度
○東西線沿線まちづくり促進

民主クラブ仙台

岡本 あき子 議員

問　「人づくり」の大切さを重視した仙台市の実現を。

答　次の仙台を担う世代を育てる「人を大切に、魅力あふれる仙台」を市民と築くよう力を尽くしてまいりたい。

その他の主な質問項目
○キッザニア・こどものまちプレイパークなど子どもの自然・社会体験機会の充実
○在仙作家による子どもたちへの読書・国語学習の推進
○商店街・農業の担い手育成
○DV防止対策強化と男女共同参画センター機能の充実

佐藤 わか子 議員

問　政策形成過程への市民参加促進のためマニュアルを。

答　案件ごとに効果的な手法を精査し検討していきたい。

問　芸術文化の方向性を次期総合計画に位置付けるべき。

答　文化行政に総合的に取り組む計画として努力したい。

計画を見直した旭ヶ丘駅前の複合型公共施設予定地

改革ネット・自民

斎藤 範夫 議員

問　高校生や大学生等の就職戦線が厳しい氷河期にある。未就職者の就職活動に対して十分な支援を行うべき。

答　多くの若者が将来に夢や希望を持って、この仙台の街で社会人としての一歩を歩き出せるよう、できる限りの支援をしてまいりたい。

その他の主な質問項目
○雇用を生み出す産業の育成・強化について
○職員派遣している外郭団体への補助金の問題について
○市所有財産の民間事業者による有効活用の推進
○若手マンガ家の発表の場づくり
○飼い主のいない猫対策

日本共産党

高見 のり子 議員

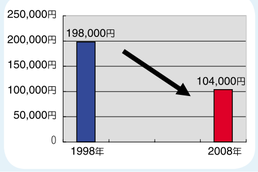
問　この十年間で六十五歳以上一人当たり老人福祉費は半分になった。予算を増やし健康づくりや介護予防支援を。

答　必要な予算の確保に努めてまいりたい。

問　鶴ケ谷第一市営住宅団地再整備事業におけるシルバーハウジングの早期実現を。

答　関係局で協議をしながら早期に方針を整理したい。

その他の主な質問項目
○高齢者支援などのボランティア団体への助成の充実を
○養護老人ホームの増設を



福島 かずえ 議員

問　徹底した調査分析を行い、市独自の地域経済振興の理念を入れた「中小企業振興基本条例」を制定し、地元中小企業・業者を支援すべき。

答　地元中小企業者の気運の高まりや実際の関わり方が重要と考え条例制定に至っていないが、今後関係団体との話し合いを深めていきたい。

その他の主な質問項目
○劇都仙台事業はまちづくりにも貢献。予算の増額を
○子どもたちが文化・芸術に触れ感動する機会の拡大を

社民党

辻 隆一 議員

問　ケースワーカーの増員による生活保護事業の拡充を。

答　これまでも増員を行うなど改善策を講じてきただが、今後も業務の見直しや負担軽減を図る体制を確保したい。

その他の主な質問項目
○市民協働の市政運営
○緊急雇用対策事業の拡充
○市職員の担い手・技術継承
○指定管理制度のあり方
○新田東総合運動場・プールの管理運営のあり方
○公契約条例の制定
○長春市との友好記念事業

再委託により管理運営されている新田東総合運動場のプール

相沢 和紀 議員

問　地域コミュニティの中核施設である市民センターの管理運営手法の改善を。

答　現行指定管理制度の問題点を随時検証し取り組んでいるが、国での協議が必要と判断すればその旨発言したい。

その他の主な質問項目
○地域共同体意識を醸し出すコミュニティづくりと活性化モデル事業の効果
○消防の職場環境の改善と団結権付与問題の前進
○市全体での環境負荷及び経費削減の取り組み強化を
○若者への婚活支援について

市立の高校生を対象に行われた就職スキルアップセミナー

鈴木 繁雄 議員

問　私立小中学校に対する振興補助金を減額するとのことだが、小中一貫教育など、私学が果たしてきた教育成果や社会貢献を、市長はどのように認識しているのか伺う。

答　様々な建学の精神に基づき全人教育を行っており、本市の教育において非常に重要な役割を果たしていただいていると認識している。

その他の主な質問項目
○旭ヶ丘駅前公共施設整備事業における地盤調査のあり方
○中心市街地活性化の取り組み

大泉 鉄之助 議員

問　奥山市長の施政方針には目新しさがさしく個性がない。不況に苦悩する地域社会において、市長が市が政治的に行政的に何をなすべきとお考えか、明確なご所見を伺う。

答　市役所自身の自己変革が第一歩であり、職員数の削減などに取り組むとともに、受益と負担の適正化を図るなど、新たな覚悟で行財政改革を成し遂げる決意である。

その他の主な質問項目
○市税収納率の向上について
○本市独自の行財政改革の断行

公明党

鈴木 広康 議員

問　ひとり暮らしの在宅高齢者の見守りネットワーク構築を民間事業者と連携しながら図っていただきたい。

答　地域包括支援センターなどの高齢者支援のネットワークに民間事業者との連携もできるよう支援していきたい。

その他の主な質問項目
○マカオへの「仙台牛」輸出
○介護保険施設整備の促進
○部活動サポートスタッフの複数制導入
○国民健康保険料のコンビニ収納の取り組み

嶋中 貴志 議員

問　国等で共同開発され、災害復旧対策に有効な道路管理システムへの加入を求める。

答　同システムの大規模災害時の活用効果は認識しているが、厳しい財政や占用者独自のシステムが整備されている状況などから難しい。

複雑化する道路地下空間に対応する道路管理システム

問　将来の仙台を、景観を重視し目に見える形で表せ。

答　二十二年度は本市の将来像を示す総合計画につき市民の皆様に議論いただくため、資料の提示方法を工夫して分かりやすく示すよう努めたい。

菊地 昭一 議員

問　分譲マンション管理組合の実態調査を実施し、適正な維持管理への公的支援のあり方を検討すべきではないか。

答　管理セミナーの開催や耐震診断への助成等の支援を行ってきたが、居住者のニーズを把握し適切に支援したい。

その他の主な質問項目
○総合コールセンターの設置

一般質問審議の概要

常任委員会　審議の概要

平成22年3月2日開催

委員会に付託された議案番号を、各常任委員会名の隣にまとめて記載しています。また、各議案・請願名については、8面の会派別議案等賛否一覧表、請願欄をご覧ください。

総務財政委員会

政策調整局・経済局・財政局・消防局その他を所管

付託された議案番号
（第36・43・67～69・議第1～4号）
※付託された請願番号（第1号）

〈付託議案等審査〉
付託された十五議案のうち、第三十七号・第四十一号議案及び議第二号は賛成多数で、議第三・四号を除くその他十議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。なお、議第三号は議第二号と同一事項に関連して内容を異にするものであるため議決不要となり、議第四号は賛成少数で否決すべきものと決した。付託された請願は、賛成少数で不採択とすべきものと決した。

問　職員定数を削減するとのことだが、非正規雇用職員の増加を招くだけではないのか。

答　行財政改革の中で、市が直接経営すべきか、民間に委ねられる部門がどうかなどの精査を積み重ねた結果の見直しである。

健康福祉委員会

健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管

付託された議案番号
（第46・49・58・61～64号）

〈付託議案審査〉
付託された七議案のうち、第四十九号議案は賛成多数で、他の六議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問　母子生活支援施設むつみ荘の廃止の理由及び時期を伺う。

答　現在の指定管理者に建物を売却することにより、同一事業者の職員による継続的な入所者の生活支援が可能になるためである。廃止時期は平成二十三年四月一日の予定である。

問　障害児の療育を行う施設に指定管理者制度を導入すると、療育の質が低下するのではないか。

答　同様の施設をこの制度で順調に運営しており、発達相談支援センター・支援を続けることもあるので、問題ないと考えている。

都市整備建設委員会

都市整備局・建設局を所管

付託された議案番号
（第51・52・70・71号）

〈付託議案審査〉
付託された四議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問　野村土地区画整理事業を進めるには、住民がどんな点で不安を持っているのか、きちんと聞き取っていくという努力、あくまでも同意と納得に基づいて進めていくことが必要と思うがいかがか。

答　当該区画整理事業は組合という形をとっている以上、組合員の納得、同意がなければ進まないものであり、公平性の観点から組合を指導し、組合員全員に説明するよう指導してきている。

その他の主な質問項目
○八木山動物公園ビジターセンターの開館について
○泉区高森地区における道路及び宅地の陥没事故の経過について

公営企業委員会

水道局・交通局・ガス局を所管

付託された議案　なし

〈交通局からの報告〉
○市バスのダイヤ改正等について
○バス車内における携帯電話使用マナーの変更について
〈その他の質問事項〉
○東西線開業時のバス路線の拡充や新しいルートの設定について
○ガス局に係る監査結果報告について

問　東西線開業時に川内駅などに新たなバス路線やフィーダーバスを導入するなどして、市北西部の団地から八幡地区経由で東西線に接続し、仙台駅までの利便性向上を図るよう検討すべきである。

答　東西線開業に向けたバス路線の再編について、都市整備局とも検討する中で、循環バスや駅間バスの導入など、平成二十二年度から具体の検討を始めたい。

市民教育委員会

企画市民局・教育委員会を所管

付託された議案番号
（第32～34・44・54・55・59・60・76号）

〈付託議案等審査〉
付託された九議案のうち第三十三号・第五十四号議案は賛成多数で、他の七議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問　施設等の指定管理の期間途中で、指定管理者である外郭団体等が廃止統合等で整理された場合、引き続きその外郭団体に指定管理を継続するほか、市がいったん直接運営し、整理した上で改めて指定管理をお願いすることも考えられるが、いかがか。

答　さまざまな情勢の変更や状況の変化が考えられるので、市民サービスの向上という視点で適切に対応してまいりたい。

〈企画市民局からの報告〉
○エル・ソーラ仙台の見直しについて

経済環境委員会

環境局・経済局・農業委員会を所管

付託された議案番号
（第65・66号）

〈付託議案審査〉
付託された二議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問　農業園芸センターの管理を指定管理に移行したことでの効果をどのようにとらえているか。

答　野菜、花卉の栽培試験や講習会開催等により、生産性向上の面でかなりの効果を上げている。また、加工、直接販売等の指導が徐々にではあるが新たな営農活動につながっていると感じている。

問　大温室の入場状況を見ると、見直しが必要ではないか。

答　大温室については市民二一ズの変化、施設の老朽化等多くの課題があり、今後二年間の指定管理者の指定期間において見直しを図る考えである。

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

●IISセンター（注1）（六面二段）
東北大学大学院工学研究科に設置された産学官連携支援拠点で、電気情報機械関連の産学連携研究を促進するとともに、地域企業の産学連携研究への参画支援や研究開発拠点の誘致支援を行う。

●アセットマネジメント（注2）（六面四段）
資産管理（Asset Management）
下水道管きょや道路橋りょう等の施設を資産としてとらえ、損傷や劣化等の状態を的確に把握・評価して将来予測を行い、有用性と寿命が最大になるように資産の管理を行う経営手法のこと。

●杜の都ハートエイド（注3）（六面五段）
AEDを設置した協力事業所近隣で発生した傷病者に対し、その従業員や市民等がAEDを持って駆け付け、救急車が到着するまで応急手当を行うことで、救命効果の向上を図る制度。協力事業所は、AEDステッカーを掲示し、仙台市が事業者名と場所を公表する。

●ファシリティマネジメント（注4）（六面七段）
企業・団体等が組織活動のために施設とその環境（土地、建物、構築物、設備等）を最適な状態（コスト最小、効果最大）で保有し、企画、管理、活用するための総合的な経営管理手法。

●PFI（注5）（七面四段）
PFI（Private Finance Initiative）プライベート・ファイナンス・イニシアティブとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。導入することで、国や自治体の事業コストの削減、より質の高い公共サービスの提供を目指すもの。